

# 2021 年度定期総会 島田会長スピーチ原稿

日本人会会員の皆様、こんにちは。会長の島田 厚でございます。

新型コロナウイルスの影響を受け、ニューノーマルな生活を始めて、既に1年以上が経ちますが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

タイでは、昨年3月末に非常事態宣言が発令されてから、一時は収まりを見せ、ほぼ通常の生活をされていたかと思いますが、また年末にサムットサコーンで起きました集団感染発生や、連休前にバンコクでも第3波到来と思われる感染拡大があり、皆さんも心労が絶えない日々をお過ごしかと思います。

出口のないトンネルを歩んでいるような一年でしたが、4月には入国者に義務づけている隔離期間の短縮や、観光産業の再興に向けて、「ワクチンパスポート制度」の開始を提案する動きや、ワクチン接種も始まったり、少しずつ明るい兆しも見え始めております。一日も早く、両国の自由な人の往来が戻ることを願ってやみません。

日本人会の定期総会も、新しい様式でのオンライン配信は今年で2年目となりました。当初は、皆様に会場にお招きし、直接お話しさせていただかかったのですが、会員の皆様の感染拡大防止を第一に考え、オンライン参加への変更をお願いすることになりました。

従来のようにお食事を囲みながら、皆様の演舞も楽しみながらの総会の実現がなかなか叶わない世の中になってしまいましたが、このような状況にも関わらず、多くの方々にご出席、委任状でご協力いただきましたこと、御礼申し上げます。

さて今年、日本人会が当地に設立されてから、109年目となります。

一昨日の理事会で、2021年度理事役職を発表しました。日本人会もまた新たな気持ちで、今年も新しいことにチャレンジしていきたいと思っております。

## 2020 年度活動報告

まず、2020年度の活動報告をさせていただきます。

2020年度は、イベント中止・延期の多い年でしたが、コロナ禍で新たな発想転換や新しい取り組みにチャレンジできる変化の年でもありました。

・個人会員数は、2020年度3月末で、5,482名となりました。昨年の4～7月の入会の動きはほとんどなく、年後半より少しずつ、新規赴任者などの入会がございましたが、トータルでは前年に比べて約850人の会員減となりました。

・後ほど会計報告がございしますが、日本人会の新規入会は通常の4割減となり、会費収入としては厳しい一年となりましたが、職員の残業抑制や人件費カット、イベント中止や同好会の皆様の協力による経費節減などもあり、一般会計の収支実績では、48万バーツの益と、4年ぶりに黒字化を達成しました。結果として、3年前と比べると約300万バーツの収益改善となりました。この背景には、3年前より日本人会改革を行い、より時代に合わせた効率的な運営を進めてきたことなども奏功し、コロナ禍の厳しい条件の中、会員の皆様のご理解もあり、日本人会全体の体質が改善してきていることを感じております。

・昨年は、有事のときこそ海外に住む邦人ネットワークとしての日本人会の在り方を考え、皆さんの生活に役立つ情報の発信を強化してまいりました。具体的には、Line、Facebook、InstagramなどのSNSを中心に安全情報、生活情報、イベント情報などを積極的に配信し、それぞれフォロワーが大幅に増えました。

・季刊誌として再出発したクランテープ誌は、年間4号発行し、読者からの投稿やアンケートなど双方向の新企画も織り込みました。クランテープの人気連載記事は、ホームページ上でも新しく検索、シェアできるようにデジタル化を進めました。

・また新たな試みとして、コロナ禍の昨年6月末からは、Zoomなどで体験・参加できるオンラインイベントを41イベント企画・実行し、タイ国内のみならず、東南アジア各国や日本など、総勢1,200人以上の方に参加いただきました。

これは日本人会のリアルで行っていたイベント以上の参加率であり、幅広い会員の皆様のご関心に合わせたテーマを企画し、会員の皆

様にも多くのイベントに参加いただけたのではないかと考えております。結果として、日本人会の認知度向上、価値を高め、新しい日本人会の在り方にチャレンジできたのではないかと考えております。

・特に「タイをもっと知りタイ！」オンラインセミナーシリーズは、タイの文化、仏教、野菜、お菓子、ムエタイ、南部映画など、タイに関するテーマは毎回多くの方に参加いただきました。

### 2020 年度オンラインイベント参加率ベスト3

・第3位は、日本人納骨堂の小川堂守による「タイ仏教」にまつわるオンラインセミナーでした。

小川堂守は今年5月で交代となり、新堂守となる内堀氏が着任しております。小川堂守の最後のオンラインセミナーを来週4/30にも予定しておりますので、奮ってご参加ください。

・第2位は、国際交流基金共催で、「短編映画でタイ深南部を知ろう」というテーマでこのスタジオで配信し、タイ南部の映画制作者や日本の大学の教授もオンラインで参加する新しい試みで、90名の方に参加いただきました。

・第1位は、日タイ翻訳・通訳の第一人者ブッサディー先生による「タイ生活で感じる日頃の疑問あれこれ」オンラインセミナーでした。タイはもとより日本や周辺国から90名を超える方々に参加いただきました。大変残念なことに、タイ国元日本留学生協会の元会長でございましたブッサディー先生は、今年の1月に逝去され、このイベントが日本人会としても最後のお別れとなってしまいました。ブッサディー先生には、長年日本人会の活動を支えていただきました。ご冥福をお祈りいたします。

・こうしたイベントは平日の午前中に企画されることが多く、働いている方が参加しにくいということもあり、日本人会は昨年「日本人会公式YouTube」を立ち上げました。まだまだフォロワーは少ないですが、イベントの動画などこちらに公開しておりますので、是非見逃したセミナーなどございましたら、チェックしてみてください。

### コロナ禍の日本人会のイベント

残念ながら、コロナ禍の感染拡大のリスクを考え、春の彼岸法要、餅つき大会、チャリティーバザー、ラムウォン盆踊り大会、カンチャナブリ慰霊塔法要は中止となりましたが、コロナ感染リスクが少し収まりを見せた年後半は、リアルイベントも復活してまいりました。

・9月の敬老の日祝賀会は、昨年75歳になられました12名の方々を囲み、新型コロナ感染対策に配慮しながら、ささやかな式を行いました。

・同じく9月に秋季彼岸法要を日本人納骨堂で執り行いました。在タイ日本国大使館より梨田大使をはじめ、会員の皆様にもお集まりいただきました。

・今年1月には2000年生まれの4人の新成人を囲んで、成人の日祝賀会を行いました。コロナ禍の激動の一年でしたが、新しい時代を切り開く新成人は、将来の夢に溢れ、希望に満ちており、私どもが勇気をいただきました。

・英検は、残念ながら3回中2回、新型コロナウイルスの影響で中止となってしまいました。第2回英検は無事開催することができました。また、昨年度より運営方法が変更となり、会場はバンコク日本人学校から日本人会サトーン本館とし、一部オペレーションを業務委託し、外部の力も借りながら、なんとか在タイの皆様が英検を受ける機会を継続できるよう会としても努めております。

・44年つづく日本人会伝統のソフトボール大会は、コロナ禍によるタイの学校施設の閉鎖や雨季などにより、通常7月の開催が10月と遅れての開催となりましたが、参加21チーム、総勢480名と昨年より多くの方に参加いただき、熱い戦いが繰り広げられました。先月3月に陸軍グラウンドで決勝戦を終えることができました。優勝チームは、一般リーグはWings、選抜リーグはアパコパでした。多くの皆様のご参加、ありがとうございました！

・チャリティーバザーは中止となってしまいました。タイ社会への貢献活動であるチャリティー基金はコロナ禍でも継続する意思を持ち、年末に公募を発表し、14団体より152万バーツの申請が寄せられました。今年はコロナ禍で資金集めが難航している団体様も多く、チャリティー基金運営委員会でも慎重に審議を重ねた結果、新規2団体を含む、9団体 総額911,110バーツの寄附を決定しました。昨年チャリティー基金を通じて支援しましたクロントイ・スラムのシーカー・アジア財団のマスク支援ですが、会員の皆様の家庭にもお届けしましたが、その後支援の輪が広がり、5000枚の支援が最終的に2万枚となり、コロナ禍の大変な時期に雇用継続に繋がったことを伺いました。このような支援の広がりや応援する仕組みづくりを今年も日本人会として率先して行う予定です。

- ・同好会や部会の皆様にも、コロナ禍で活動が制限される中、ヨガやコンサートのオンラインや動画配信など新しい取り組みを積極的に行っていただきました。
  - ・11月には、編み物・手芸の会が10数年ぶりに作品展をリアルに開催いたしました。
  - ・婦人部も、コロナ禍での活動規制がある中、昨年8月からほぼ毎月活動を開始し、オンラインとのハイブリッド開催など工夫をしながら、総勢335人の方々に多くのイベントに参加いただけました。
  - ・すくすく会では、会館でのキッズルームなどの閉鎖などありましたが、コロナ禍でいち早くZoomを取り入れ、両親学級やリトミック遊び、親子のコミュニケーションセミナーなど、オンラインで積極的に活動しました。
  - ・青少年サークルは、昨年度は、コロナ禍で日本人学校での活動が叶いませんでしたが、日本人会の会館やが外部施設を利用して活動しました。活動休止中のサークルもありますが、野球サークルは、2021年度より親子野球同好会として活動します。
  - ・別館の子ども図書館にパソコンと図書システムを導入し、現在ボランティアの皆様によって、システムに蔵書を登録する作業を進めていただいております。
  - ・みんなの相談室も、コロナ禍においてオンラインでお茶会など100人以上の方に参加いただきました。今年度は、厚生部傘下の部会として、日本人会も活動を支援したいと考えております。
  - ・その他、多くのボランティアの皆様にも、活動が制限される中、日本人会の活動を支えて頂きました。重ねて御礼申し上げます。
- 日本人会では、ご帰国の際にボランティア証明書を事務局で発行しております。皆様の日本人会での貢献活動を形に残し、タイでの充実した生活の証として、次の生活のスタートに少しでも役立ていただければ幸いです。是非ご活用ください。

## 2021年度活動計画

今年度は、これら5つの施策を重点的に実施いたします。

### 施策① 時代にあわせた日本人会会員制度改革

昨年より「タスクフォース会議」を立ち上げ、日本人会の安定的な財政基盤の確立をめざして、中長期に持続可能な会の運営について話し合ってきました。会長の私を含め、副会長、企画推進部長など理事4名を中心に素案を作成し、今後の日本人会の在り方に関して理事会などで議論を進めてまいりました。主な議題は、①本館/別館の会館統合、②会費の見直し、③会員制度改革についてです。

・会員減に関してはコロナ前からの課題でありましたが、100年に一度の危機ともいわれるコロナ禍でより減少が加速し、ついに2つの会館を維持するのに必要な会員のボーダーラインであると考えている6,000人を切り、会館統合による経費減か会費値上げによる収入増を検討する時期に来ております。

・会費の見直しに関しては、2007年の定期総会の際に、現状の月額200Bに改訂され、以来15年、物価高騰などに関わらず、据置してまいりました。

・当時の議論の中でも、7年後の2013年に更に値上げをしなければ収支が赤字になると見通しておりましたが、現時点では値上げせずに15年が経過しております。

・この会館統合と会費値上げという大きな問題に関して、タスクフォース会議・理事会でも議論を重ねてきましたが、コロナ禍で今後のシナリオが見えない状況の中、現時点で大きな決断をするべきではないと判断し、今回は見送ることになりましたことをご報告いたします。これは、コロナ禍の現状における判断であり、依然厳しい状況でありますので、今後、また状況が落ち着いた時には、議論を再開すべきと考えております。会員の皆様にもご理解いただければ幸いです。

・その中で、今取り組むべき内容として、時代にあわせた会員制度改革があり、本日提案させていただきます。

具体的には、①75歳以上の無料会員となっている会友会員制度の条件見直し、②駐在ファミリーの形態や家族構成の変化に伴うファミリー会員への表現見直し、③未入会の方もワントimeで、イベントなどで会館を利用できる有料のビジター制度の導入などです。

会友会員制度やファミリー会員制度に関しては、日本人会の規約の変更にあたりますので、後ほど決議を取らせていただきます。

・今回は新たに「ビジター制度」を導入いたします。

導入の目的としては、日本人会は、会員様の会費で支えていただいておりますが、2つの会館を今後も維持するには、会員でない方もワンタイムでも有料で利用できるような門戸を広げていきたいと思っております。これは、同好会活動ではなく、基本的には会館利用や本部のイベント参加などの場合にまずは限らせていただきますが、有料で会館を利用できるようにするものです。

1 回のご利用料金を会員の月会費と同じ値段にすることにより、複数回ご利用の方は、会員になった方がお得となるよう設定しております。今年から試験的に運用開始ができるよう進めてまいります。

#### 施策② 利用しやすい仕組みづくり

次に、ウェブ入会システム導入やクレジットカード払いなどより利用しやすい仕組みづくりの構築についてです。

・2年前より日本人会のデジタル改革を進め、具体的にはウェブサイトの刷新や SNS での情報発信強化、ウェブで参加申し込みができる仕組みなどを進めてまいりました。今年は、15年ぶりに会員システムの刷新や、今年6月から施行される個人情報保護法（PDPA）対応も進めてまいります。ウェブ入会システムも新たに制作する予定です。

・窓口でのクレジットカード払いは、昨年より導入を開始いたしました。ウェブ上でも会費の決済ができるよう、より入会しやすい仕組みづくりを努めてまいります。

#### 施策③ タイ生活に有益なオンラインセミナー強化

3つ目の施策は、タイ生活で有益なオンラインセミナーの拡充です。

・今年は、人気のタイを知りタイシリーズの他に、コロナ禍に負けない心身を鍛える！シリーズを展開中であり、今年も既にタイの農業や大気汚染に関するセミナーや日本のキャリアコンサルタントによるコミュニケーションセミナーや大使館の医務官によるメンタルヘルスセミナーを実施しました。

・今年は新たに病院と連携した医療セミナーやタイビジネスセミナー、タイの生産者や NGO 代表を応援するチャリティーセミナー。。。など幅広いテーマで会員の皆様のタイ生活がより豊かで安全になる有益な情報を発信してまいります。

年間30のオンラインイベントを企画・配信する予定で、昨年倍の2,000人の皆さんに参加していただけるよう企画中です。

#### 施策④ より会員メリットを感じられる新規講座・イベントのローンチ

また、日本人会の会員様向けに、通常よりお得でより充実したタイ生活を送れるようなイベントを次々と展開していきます。

お子様向けの英検対策講座や新任駐在帯同者向けの初めてのタイ語講座、新規赴任者向けの異文化で仕事を進める上でのビジネス講座やタイ人向けの日本語講座など現在、語学学校・セミナー会社様ともタイアップして、より会員様にはお得に受けられるような講座を開設できるよう企画しております。楽しみにしてください。

#### 施策⑤ 今年こそラムウォン盆踊り大会

最後にラムウォン盆踊り大会についてです。

昨年度、日タイ文化交流イベントでありますラムウォン盆踊り大会を予定しておりましたが、コロナ禍で延期となっておりました。

今年こそ、感染状況が落ち着き、タイで実施できる見込みがありましたら、4年ぶりにラムウォン盆踊り大会を復活したいと思っております。

最後となりましたが、これからもタイ国日本人会は、日本人同士の相互援助はさることながら、タイ社会と長きに渡って融和と親睦を図ることを目的とした団体であり続けるために、会員の皆様と活動を展開していきたいと思っております。

今後とも、より一層のご支援をお願い致します。本日は、ありがとうございました。